「流れ星」実験装置の製作

~ USB汎用インターフェイス・キットの紹介 ~

実験教育支援センター 管理工学科担当 池田裕史

プロローグ

■ 2005年末のある日、、、、

学生からの相談 「流れ星のようなものを作れませんか?」

··· 長さ1m〈らい、単発



・・・ 流星フラッシャーを買って来て見せる



・・・ 作業者の周辺視野に何ヶ所か配置したい

流星フラッシャー



実験の内容

Augmented Realityによる手順提示方法の実用化を見据えた ヒューマンファクター的要件に関する研究

外景の変化に対する気づきに関する実験

実験方法

被験者は指示書に従い配線盤にケーブルを配線してゆく (指示書の提示方法は紙媒体、STD、RSD)

STD (See-Through-Display / 透過型ディスプレイ)

■ DataGlass2/A (島津製作所)





RSD (Retinal Scanning Display / 網膜走査ディスプレイ)

Nomad (Microvision)





装置の仕様

■ 流れ星は46個

流れ星の光り方は単発、繰り返さない

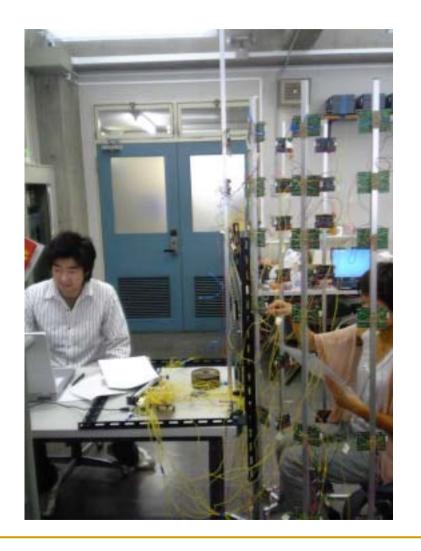
- 光る時間間隔一定、光る場所はランダム

■ 光った時間、場所、被験者の回答の正誤の3つをExcelに記録

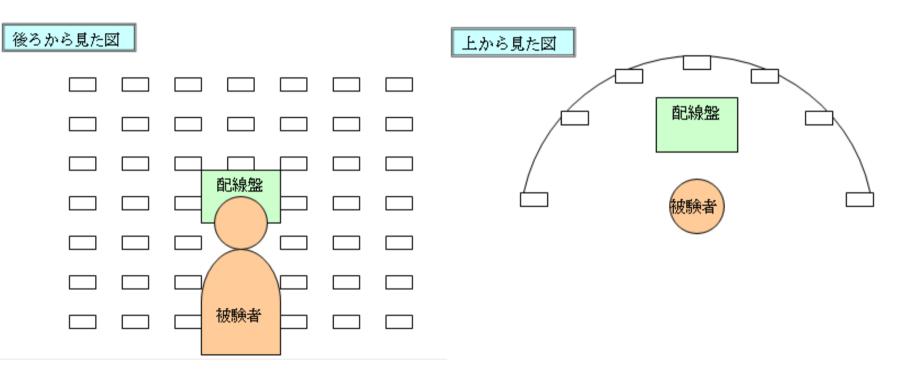
皆さんならどんな装置を 作りますか?

実験風景

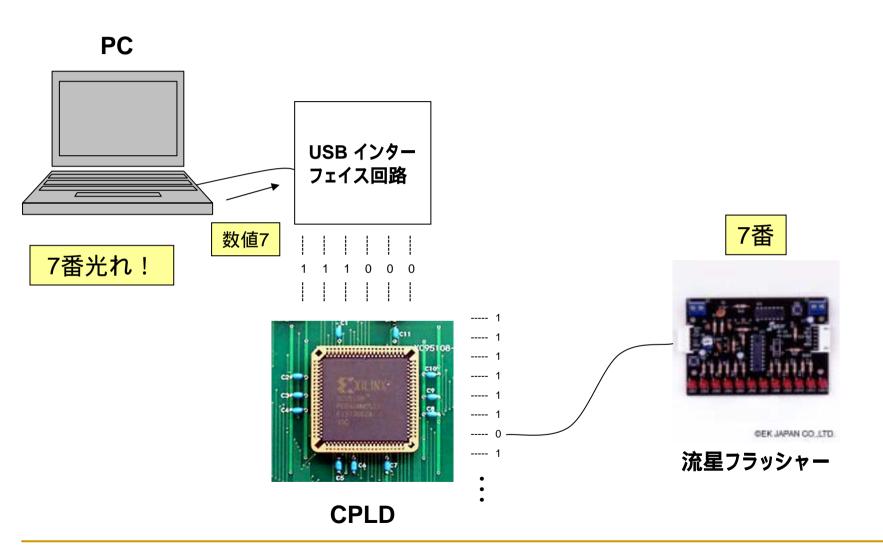




実験装置概略図



実験装置イメージ図



各部品を選んだ理由1

- 流星フラッシャー
 - ・ 数が多いので作るのが大変
 - ・PICさえ書き換えればそのまま使える

CPLD46個もの流星フラッシャーに接続する

各部品を選んだ理由2

USBインターフェイス・キット

RS-232Cポートを使う



パラレルに信号を送る 🔷 ポートのチャンネル数が足りない



ADボードを使う

現在持っているADカードは出力ピン数が少ない。買うには高価。



USBインターフェイス回路の自作を考える

難しい (>_<)P



ADボードのような既製の汎用的なUSBインターフェイス 回路が売られていないか?

すぐ見つかりました!

(CQ出版社/定価15,750円(税込))



USBインターフェイス(Visual Basic)のコード1

- インターバルを設定できる
- 設定したインターバルで 46個のランダムな数を出力
- 光る順番は中央のテキストボックス に表示され、実験者には前もって 分かるようになっている
- 正解の場合は 不正解の場合はxをクリック
- 経過時間、光った回路の番号、 回答の正誤をExcelに記録



USBインターフェイス(Visual Basic)のコード1

<ポートの設定 > EZ_SetPortConfig(0, 2, 1, 1, 1, 1, 0)

<データの出力> EZ_PIOWrite(3, x)



```
2 : GND
         (PKTEND)
                          : PA7 (nSLCS)
   : PA2 (nSLOE)
                          : PA3 (FIOADR0)
   : PA4 (FIOADR1)
45 : N.C.
47 : N.C.
                       50:V_{ccs}
49:V_{cc3}
```

I/Oコネクタの信号名

CPLD

```
library IEEE;
                            75 77 79 81 83 1 3 5 7
                                        22,38,64,73,78
Voc
                             80 82 84 2 4 6 8 10 13 12
use IEEE.STD LOGIC 1164.ALL;
                                        8,16,27,42,49,60 GND
                           72
                                    15 14
                                    17 16
                           70 71
entity shooting star is
                           68 69
                                    19 18
                                        28 TDI
29 TMS
30 TCK
59 TDO
Port (X: in std logic vector(5 downto 0);
                                    21 20
                           66 67
  Y: out std logic vector(45 downto 0));
                                    23
                           65
end shooting star;
                           62 63
                                    25 24
                                     27 26
                           60 61
                           58 50
                                    29 28
architecture RTL of shooting star is
                                    31 30
begin
                           54 55 52 50 48 46 44 42 40
                                    36 34 32
process(X)
                            53 51 49 47 45 43 41 39 37 35 33
begin
 case X is
```

BOTTOM VIEW

end process; end RTL:

end case:

PIC16F627

```
#include <pic.h>
                         PORTB=0B01010111:
#include <delay.h>
                         DelayUs(100);
                         PORTB=0B01001111:
int main(void) {
                         DelayUs(100):
TRISB=0B00000001:
                         PORTB=0B00110111:
PORTB=0B00011111:
                         DelayUs(100);
if(RB0 == 0) {
                                                      RB0:入力 RB1~7:出力
                         PORTB=0B00101111:
 PORTB=0B00111101:
                         DelayUs(100);
 DelayUs(100);
                                                      LED12個を順次光らせる
                         PORTB=0B000111111;
 PORTB=0B00111011:
 DelayUs(100):
 PORTB=0B01011101:
 DelayUs(100);
                                         RA2/AN2/VREF ←
                                                                     18□
                                                                            ► RA1/AN1
 PORTB=0B01011011:
                                        RA3/AN3/CMP1 -
                                                                     17
                                                                             ► RA0/AN0
                                                                 PIC16F62X
 DelayUs(100):
                                       RA4/TOCKI/CMP2
                                                                     16

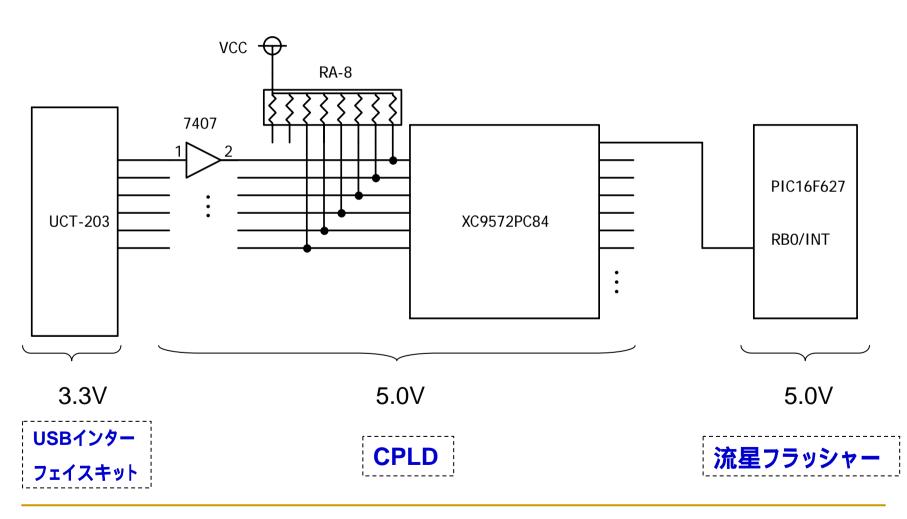
    RA7/OSC1/CLKIN

 PORTB=0B10011101;
                                                                               RA6/OSC2/CLKOUT
                                         RA5/MCLR/VPP
 DelayUs(100):
                                                                     14
 PORTB=0B10011011:
                                                                           —► RBZ/T10SI/PGD
                                             RB0/INT
 DelayUs(100);
                                                                            → RB6/T10S0/T1CKI/PGC
                                           RB1/RX/DT ≺
 PORTB=0B10010111:
                                           RB2/TX/CK ◀
                                                                     DelayUs(100);
                                            RB3/CCP1 <del>◀</del>

→ RB4/PGM

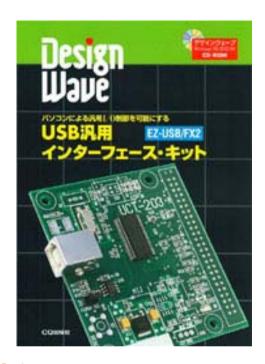
 PORTB=0B10001111;
 DelayUs(100);
```

実験装置の説明(ハードウェア)



エピローグ

USB汎用インターフェイス・キット (CQ出版社/定価15,750円(税込))



大変恐縮ですが,こちらの商品は,絶版になりました.

EZUSB-FX2 USB Ver. 2 マイコンボード 3,980円(税込) ストロベリーリナックス 販売

ご清聴ありがとうございます